

教室の実施状況	プログラムによって、机の出し方や、座る人数をかえて、やりやすくしています。 参加者さん、サポーターさん関係なく、仲良く和やかな雰囲気です。 サポーターみんなで当番を回しながら、教室を運営しています。サポーター同士の阿吽の呼吸が自慢です。 教室が終われば、同日開催のふれあい喫茶で、おしゃべりの続きや、脳トレ、手芸など楽しんでいます。		
参加者意見交換会結果	<table border="1" data-bbox="360 1081 837 1131"> <tr> <td>実施年月日</td><td>平成 24 年 12 月 11 日</td></tr> </table> 【よかったこと・参加して変わったこと】 ・教室の日は、家事の準備・段取り等の生活スケジュールを考えて行動するようになった。 ・明るくなり、元気をもらった。 ・教室に行くのが楽しみ。 【改善・工夫点】 ・内容については、くり返しになるので少し変えて欲しい。 ・ちょうどいい、難しすぎると困る。 【元気に過ごす為の工夫】 ・早寝早起き規則正しい生活をする。 ・はつらつ教室に参加し続ける。外に出て行くよう心掛ける。	実施年月日	平成 24 年 12 月 11 日
実施年月日	平成 24 年 12 月 11 日		
サポーターの声	・参加当初は、表情が硬かった人が、参加回数を重ねるうちに穏やかになり、プログラムに楽しく参加されるようになったのが嬉しい。また、教室の効果を実感できた。 ・参加者の見守りを行うなかで、サポーター同士の連携が深まった。いわゆる阿吽の呼吸を感じる。 ・参加者やサポーターを超えた、和気あいあいとした雰囲気がとてもよい。 ・認知症予防だけでなく、認知症の人と接することについても勉強もしたい。		
今後の課題	・男性の参加者が2名と少ない。一度参加しても2回目が続かないので、男性参加者が増えるような声かけや、初回参加時の関わりが必要。男性から男性への声かけが効果的と思われるので、ネットワーク委員長(男性)や、男性同士、同じグループにするなど、工夫したい。 ・参加者が固定メンバーで着席してしまう。新しい人との関わりが少なくなるため、今後1ヶ月毎のグループがえを、楽しく行えるようくじなどを作る予定にしている。		